

令和5年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告書

砺波市及びその他の公共団体が設置する文化施設及び生涯学習施設、花と緑に関する施設並びに散居村に関する施設等で、文化、芸術及び花と緑の振興により、市民の芸術文化活動、生涯学習活動及び花や緑を愛し守り育てていく活動とともに、散居景観の紹介、保全及び創造並びに農村文化及び伝統文化を継承し、周辺地域を含む自然、人文及び社会の諸事象についての総合的研究を支援し、もって市民の教養と文化を高め、緑豊かな環境づくりと心豊かなまちづくりの推進及び地域社会の健全な発展に寄与するため、令和5年度事業計画に基づき次のとおり実施した。

1 公益目的事業1

(1) 砺波市文化会館事業

参加協働型事業、普及・鑑賞型事業、共催事業、市民文化交流事業及び広報事業を以下のとおり実施した。

① 参加協働型事業

公演名	期日	内容	備考
吹奏楽振興事業 チューリップコンサート及び振り付けレベルアップ講習会	4/29(土・祝)	砺波地区の吹奏楽の振興と技術向上を目指し、フェア期間に園内での吹奏楽パレードとステージでのコンサート、その事前講習会を実施した。	参加者 (小学生～高校生) 10団体 312人
合唱振興事業 となみのジュニア合唱団	合唱ワークショップ 7月～12月 発表会 12/24(日)	となみのジュニア合唱団団員を砺波市内の小・中学生を対象に公募を行った。 12回のワークショップを行い、10月のとなみブランドフェアでの出演や、12月の発表会で成果を披露した。	団員数 8人 ワークショップ 12回 依頼出演 1回 発表会 1回
コンサートピアノ演奏体験	12/9(土) 10(日)	コンサートピアノ最高峰とうたわれる逸品「スタインウェイ」を本番さながらの大ホールのステージで演奏体験してもらった。	参加者 14組
オリジナルミュージカル「クラウドナイン！」	3/2(土) 3(日)	となみミュージカルキッズを応援する会と砺波市文化会館が協働して新作オリジナルミュージカルを上演した。クオリティの高い子どもたちの熱演が感動を与えた。	大ホール 公演回数 2回 入場者数 計1,113人

② 普及・鑑賞型事業

事業名	期日	内容	備考
宝くじ文化公演 ウィーン少年合唱 団コンサート	6/7(水)	宝くじの助成を受け、チケット価格を抑えて開催した。4年ぶりの来日公演とあって多くの来場者が天使の歌声を満喫した。	大ホール 入場者数 978人
東京スカパラダイ スオーケストラ 2023 HALL TOUR	6/29(木)	東京スカパラダイスオーケストラの全国ツアー砺波公演を開催した。8年ぶりとなる砺波公演はコロナの制限も解除され大きな声援の中、盛り上がりを見せた。	大ホール 入場者数 1,116人
ホールシネマ イン 富山 2023	8/19(土) 20(日)	チューリップ公園夏あそびに合わせたファミリー向け作品「パディントン2」と、富山県公立文化ホールネットワーク公演事業として富山県がロケ地の作品「おもいで写真」の2作品を上映した。	大ホール 入場者数 計415人

③ 共催事業

事業名	期日	内容	備考
チューリップフェア ナゾトキトレジャ ーハンター	4/22(土) ~5/5(金・祝)	フェア期間において会場内のポイントを巡る謎解きゲームを開催。子どもから大人までたくさんの人が挑戦した。	園内 参加者数 7,577人
チューリップフェア 大阪桐蔭高等学校 吹奏楽部特別演奏 会	5/5(金・祝)	昨年好評だった演奏会を今年もフェア期間に開催した。リクエストコーナーなど、観客も巻き込んだ多彩な演出と迫力ある演奏で魅了した。	大ホール 入場者数 1,098人
NHK全国学校音 楽コンクール富山 県コンクール	8/8(火) 9(水)	NHK主催による、小・中・高校の合唱コンクールの東海北陸ブロックコンクールへの進出者を決めるコンクールを開催した。	大ホール 参加 小学校 2校 中学校 7校 高等学校5校
CHEMISTRY HALL TOUR 2024「BEGINS」	3/9(土)	富山テレビ放送とサンライズプロモーション北陸が主催のケミストリー全国ツアー砺波公演を共催で行った。	大ホール 入場者数 1,126人

④ 市民文化交流事業

事業名	期日	内容	備考
砺波市文化協会・ 安城文化協会交流 事業	12/2(土) 3(日) 安城民よう保存会 創立20周年記念 発表会	安城民よう保存会創立20周年記念発表会に砺波市民謡民舞協会の皆さんが出演し、三河安城小学校児童と「こきりこ節」の共演も行った。	砺波市文化協会 参加者数 21人
	12月	文芸誌の交換を行った。 『散居の里』と『明治川』各30冊	
チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション2023	11/28(火) ~12/24(日)	チューリップ公園での同イベントに合わせ、文化会館の前庭に光のディスプレイを設置し、来場者を楽しませた。	公園来場者数 55,000人

⑤ 広報事業

部門名	期日	内容	備考
広報となみ	毎月	自主事業PR、催物案内等を掲載。	12回
メディア広報 (KNB)	毎月第1月曜	KNBでるラジ(電話出演4分)にて催物紹介。	12回
メディア広報 (エフエムとなみ)	隔週木曜、金曜	スクランブルとなみ(収録10分)にて催物紹介。	24回収録 48回放送
インターネット 広報	随時	ホームページ、X(旧ツイッター)、Instagramにて、自主事業PR等の情報発信を実施。	
ホールメイト	随時	会員(年会費1,000円)を募集し、隔月で催事情報の送付、主催事業5%割引、先行販売等を実施。	加入者 91人

(2) 砺波市文化会館施設管理運営事業

① 施設利用状況

区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
		5 年 度	4 年 度	利用対比 R5/ R4	5 年 度	4 年 度	利用対比 R5/ R4
大 ホ ー ル	公益目的 利用日数	179 日	176 日	101.7%	人 43,840	人 48,339	% 90.7
	収益目的 利用日数	18 日	27 日	66.7%			
	利用日数 合 計	197 日	203 日	97.0%			
	利用率 %	60.6%	67.9%	—			
そ の 他 (4 部 屋)	公益目的 利用日数	853 日	846 日	100.8%	人 11,277	人 13,095	% 86.1
	収益目的 利用日数	87 日	70 日	124.3%			
	利用日数 合 計	940 日	916 日	102.6%			
	利用率 %	70.1%	68.2%	—			
合 計	利用日数	1,137 日	1,119 日	101.6%	人 55,117	人 61,434	% 89.7

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和 5 年度	0.908	0.092	
令和 4 年度	0.874	0.126	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 建築・設備機器の管理に万全を期すため、舞台機構、空調設備等の保守点検を実施、施設利用者の安全で快適な利用環境確保に努めた。

(3) 砺波市美術館事業

企画展事業、常設展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業及び広報事業を実施した。

① 企画展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
チューリップフェア特別展 錯覚美術館	4/ 8 (土) ~ 6/11 (日) (60日間)	明治大学研究特別教授杉原厚吉氏の世界最先端の錯視・錯覚作品を展示紹介した。子供から大人まで直感的に楽しむことができる展覧会。 (企画展示室)	63,624
となみ野4人展 「戌亥の縁」	6/24 (土) ~ 7/30 (日) (35日間)	砺波地域に在住し、となみ野美術展に出品してきた4人の作家を紹介。今回は、南砺市在住の工芸作家の志観寺範従、前川正治、彫刻家の加茂為男、書道家の松本燁之の作品を展示した。 (企画展示室)	1,362
木村伊兵衛展 -写真に生きる	9/ 9 (土) ~ 11/ 5 (日) (54日間)	日本の写真史に大きな足跡を残した木村伊兵衛(1901~74年)の写真展。小型カメラを駆使した作品133点を紹介した。 (企画展示室)	2,070
館蔵品展 コレクションにみる写真	1/ 13 (土) ~ 2/ 25 (日) (36日間)	砺波市美術館が収蔵する1600点あまりの収蔵美術品から、ジャック・アンリ=ラルティエグ、ロベール・ドアノー、高道宏、井津建郎の写真作品71点を紹介した。 (企画展示室)	1,260

② 常設展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
常 設 展	190日間	常設1 工芸の秀作展 館蔵品展 (4/1～2) 工芸の秀作展 館蔵品展 (4/8～6/18) 工芸の秀作展 館蔵品展 (6/24～9/3) 工芸の秀作展 館蔵品展 (9/9～11/5) 工芸の秀作展 館蔵品展 (11/18～1/21) 工芸の秀作展 館蔵品展 (1/23～3/31) 常設2 紫藤孝 (4/1～2) 下保昭 (4/8～6/18) 高道宏 (6/24～9/3) 版画の世界 (9/9～11/5) ロベール・ドアノー (12/20～2/12) ジャンルー・シーフ (2/17～3/31) 常設3 藤井宏 (4/1～2) 清原啓一 (4/8～6/18) 川辺外治 (6/24～9/3) 藤森兼明 (9/9～11/5) 永原廣 (12/20～2/12) 日本画の世界 (2/17～3/31)	4,619

③ 芸術文化活動支援事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
第30回中学生清流展	8/11 (金・祝) ～ 8/27 (日) (16日間)	砺波地区中学校文化連盟美術専門部と砺波市美術館が行う写生会に参加した生徒の作品を紹介した。 (企画展示室)	1,532
第19回砺波市美術展	11/18 (土) ～ 12/17 (日) (29日間)	砺波市在住・在勤・在学者を対象とした公募展。日本画16点、洋画23点、彫刻8点、工芸16点、書41点、写真17点の6部門合計121点を展覧した。 (企画展示室、常設展示室2、3)	2,614
第20回記念 砺波市美術協会会員展・ 安城文化協会交流展	3/9 (土) ～ 3/31 (日) (21日間)	砺波市美術協会の会員展。日本画18点、洋画16点、彫刻9点、工芸11点、書28点、写真11点の6部門合計93点と防災協定都市である安城文化協会15点で交流展を行った。 (企画展示室、市民ギャラリー)	1,699

④ 教育普及事業

名 称	日 数	内 容	入場者数 (人)
子どもの造形アトリエ	41 日	市内の小学校低学年、保育所・こども園・幼稚園の年長児を対象に、クラス単位で美術館に親しむ造形あそびなどの体験講座を行った。	1,121
講演会・ワークショップ ギャラリートーク	15 回	企画展に併せた講演会、ギャラリートークやワークショップを開催した。	510
調査研究	年 間	美術情報の収集、調査、研究、次年度の企画展の調査と準備を行った。 常設展示室では、昨年から美術作品の解説パネルを作成し充実を図っている。	—

⑤ 広報事業

広 報	年 間	ポスターやチラシの配布、毎月発行の市広報、エフエムとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、インターネットなどで情報発信を行った。また、新聞広告での告知や共催放送局では告知CMの放送を行った。各展示会の会期前や会期中には、X(旧ツイッター)等を活用し、即時性のある情報発信を行っている。	—
-----	-----	--	---

⑥ 砺波市美術振興事業資金を管理し、運用利益を市展の奨励に充て美術の振興に努めた。

⑦ となみ芸術文化友の会の活動を支援し、共同で公開コンサートなどの事業を開催した。

⑧ 建築・設備機器及び収蔵作品の管理に万全を期すため、空調設備の保守点検のほか清掃委託等を実施し、施設利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。

⑨ 事業利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	5年度	4年度	利用対比 R5/R4	5年度	4年度	利用対比 R5/R4
企 画 展 示 室	日 251	日 243	% 103.3	人 74,161	人 57,806	% 128.3
常 設 展 示 室	261	163	160.1	4,619	4,674	98.8
市 民 ギ ャ ラ リ ー (自主事業単独使用)	14	1	1,400.0	0	32	皆減
市 民 ア ト リ エ (自主事業単独使用)	52	59	88.1	1,531	1,608	95.2
計				80,311	64,120	125.3

※常設展示室・市民ギャラリーの日数・入場者人数の中にチューリップフェア期間中の数は含んでおりません。

※小数点第2位以下は四捨五入

(4) 砺波市美術館管理運営事業

① 施設貸与利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	5年度	4年度	利用対比 R5/R4	5年度	4年度	利用対比 R5/R4
市民ギャラリー	日 78	日 73	% 106.8	人 4,853	人 3,346	% 145.0
市民アトリエ	105	112	93.8	1,441	1,594	90.4
計				6,294	4,940	127.4

※小数点第2位以下は四捨五入

(5) 松村外次郎記念庄川美術館

庄川美術館が所蔵する郷土を代表する作家の作品の常設展示を行った。

- ① 常設展示室において、「庄川美術館所蔵品展」では、所蔵作品より庄川出身の藤森兼明、島田四郎の洋画や、松村外次郎の彫刻などの作品を展示した。「庄川美術館のあゆみ ポスタークロニクル」では、庄川美術館でこれまで開催した企画展ポスターを展示場に年代順に掲示し、展覧会活動を紹介した。

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
常設展示 庄川美術館所蔵品展 藤森兼明の洋画 島田四郎の洋画 齋藤清策の日本画 松村外次郎の彫刻 庄川美術館のあゆみ ポスタークロニクル展	4 / 1(土) ~ 3 / 31(日) (267日間)	収蔵作品より藤森兼明の洋画やデッサン、島田四郎の花や風景を描いた洋画、齋藤清策の日本画、松村外次郎の彫刻など郷土作家の秀作を展示した。 庄川美術館でこれまで開催した企画展ポスターを年代順に掲示し、活動を紹介した。	1,701

② 施設利用状況

項 目	利 用 日 数			観 覧 者 数		
	5年度	4年度	利用対比 R5/R4	5年度	4年度	利用対比 R5/R4
常設展	267日	314日	85.0%	1,701人	7,185人	23.7%

(6) 庄川水資料館博物館事業

① 常設展示室において、「流木に生きた先人たち 流木と庄川」「川を治め、川を利す 庄川を生きる」のテーマに沿い、流木作業に携わった流送夫の生活資料や、治水・利水・流送に関する資料を展示した。

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
流木に生きた先人たち 川を治め、川を利す	4 / 1(土) ~ 3 / 31(日) (308日間)	庄川の歴史や、庄川の流れを利用して流送の仕事をしていた「流送夫」の仕事ぶりを紹介した。	1,413

② 施設利用状況

施 設 名	利 用 日 数			観 覧 者 数		
	5年度	4年度	利用対比 R5/R4	5年度	4年度	利用対比 R5/R4
庄川水資料館	308日	314日	98.1%	1,413人	3,033人	46.6%

(7) 庄川水資料館施設貸与事業

① 映像ホール利用状況

年 度	開 催 日 数	映像ホール貸与日数
令和5年度	308日	0日
令和4年度	314日	1日

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和5年度	1.000	0.000	
令和4年度	0.997	0.003	

※貸与日数と各施設面積の積数による。

(8) 庄川生涯学習センター事業

① 施設の特徴を生かし、日本の伝統芸能の公演や最近話題の映画を鑑賞する機会を提供した。

公演名	期 日	内 容	入場者数 (人)
庄川落語会 「柳家喬太郎独演会」	6/25 (日)	地域住民の方々に古典芸能、話芸の楽しさに触れる機会を提供した。	160
庄川名画祭 「ルパン三世 vs 名探偵コナン」	7/29 (土)	地域の児童生徒に情操教育の支援となる名作アニメを上映した。	135
庄川名画祭 「お終活」	10/14 (土)	豊かな生活環境づくりの一環として、一般向けに邦画の話題作を上映した。	300

② 広報事業

広 報	通 年	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報ホームページ、民放放送等マスコミなどを通じて情報発信を行った。	—
-----	-----	---	---

(9) 庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			5年度	4年度	利用対比 R5/ R4	5年度	4年度	利用対比 R5/ R4
庄川生涯学習センター	多 目 的 ホ ー ル	公益目的 利用日数	78日	77日	101.3%	8,336人	6,952人	119.9%
		収益目的 利用日数	19日	17日	111.8%			
		利用日数計	97日	94日	103.2%			
		利 用 率	32%	31%	—			
	そ の 他 (7部屋)	公益目的 利用日数	312日	342日	91.2%	17,474人	17,550人	99.6%
		収益目的 利用日数	158日	140日	112.9%			
		利用日数計	470日	482日	97.5%			
		利 用 率	22%	23%	—			
	合 計	利用日数	567日	576日	98.4%	25,810人	24,502人	105.3%
		利 用 率	24%	24%	—			

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和5年度	0.748	0.252	
令和4年度	0.777	0.223	

※利用日数と各施設面積の積数による。

- ② 各設備等の保守点検修繕等を適時適切に実施し、利用者の安全で快適な環境確保に努めた。

2 公益目的事業2

(1) 第72回砺波チューリップフェアについて

① 総括

第72回砺波チューリップフェアは、「チューリップが奏でる 色彩のシンフォニー（交響曲）」をテーマに4月22日（土）から5月5日（金・祝）までの14日間にわたり開催した。入場者数は目標の30万人を大幅に上回る358,000人の方々に来場いただくことができた。入場者が大幅に増加した要因はコロナの規制緩和により旅行需要が回復したことに加え、天候や暦まわりに恵まれるとともに、開幕初日から満開であったことや、花の見頃が最終日まで続いたほか、地元メディアをはじめ全国放送においてフェアをニュースや番組に取り上げられたことなどの相乗効果によるものと考えられる。

会場内では300品種300万本のチューリップが咲き誇り、期間中には10万6千本の花の入れ替えや追加等を行い最終日まで見頃の状態を保つことができた。また、会場のチューリップのうち約7割程度を晩生種にしていることも長い期間の花持ちに繋がった。

今回のチューリップフェアに関する主な数値結果は、次のとおりです。

◆入場者数	358,000人	(R4 282,000人)	27.0%増
外国人入場者数	5,900人	(R4 90人)	6,455.6%増
◆駐車台数 自家用車	44,525台	(R4 35,266台)	26.3%増
バス	388台	(R4 167台)	132.3%増
◆JR城端線割引利用者 (割引券配布枚数)	6,312人	(R4 4,517人)	39.7%増
◆砺波市美術館入場者	60,145人	(R4 44,597人)	34.9%増
◆シャトルバス利用者	33,333人	(R4 22,134人)	50.6%増

② 展示、装飾

メインの大花壇はテーマに基づき、15品種21万本のチューリップでト音記号や音符を浮かび上がらせたデザインを描き、円形花壇では3万7千本のチューリップでモニュメントを中心に癒しの波動が広がる螺旋のデザインを描き人気を博した。大好評の「花の大谷」は、会期前半は入口から中へ進むに連れて雪の白色から春の色とりどりへ変化していくグラデーションを、会期後半は一転して色とりどりのチューリップで春の訪れを表現することで、色彩の異なる花の回廊を体感いただいた。四季彩館では、本年3月に発表された新品種「春うさぎ」のほか、皇室献上品種「ロイヤルコレクション展示」など珍しい品種の展示も行った。

③ 催事等

テーマに合わせ「音楽」を中心としたイベントに加え、「街の強さひきだすプロジェクト1073デー 吉田沙保里トークショー」や「台湾交流セレモニー」での台湾獅子の演舞などを開催し、来場者に楽しんでいただいた。

入場者の増加に伴い球根の予約販売や土産物などの売り上げが伸びた。

④ 新型コロナウイルス感染症対策

体温測定・手指消毒、指定エリア以外での飲食制限のほか、スタッフはマスクの着用を徹底するなど一定のコロナ対策に留意しつつも、国の指針に準拠し、来場者のマスク着用を個人の判断として開催した。

⑤ 連携イベント・連携会場

◆出町子供歌舞伎曳山 (4/29~30)	6,000人 (R4: 2,500人)
◆新屋敷 芝桜まつり	6,400人 (R4: 中止)
◆せんだん山水仙そばまつり(4/30~5/1)	2,600人 (R4: 1,500人)
◆庄川峡遊覧船乗客数	1,600人 (R4: 900人)
◆チューリップフライト(5/2~5/5)	600人 (R5から実施)
◆となみ散居村ミュージアム	2,600人 (R4: 2,300人)
◆庄川美術館	160人 (R4: 410人)
◆庄川水資料館	160人 (R4: 260人)
◆出町子供歌舞伎曳山会館	430人 (R4: 380人)
◆砺波郷土資料館	12,327人 (R4: 10,000人)

(2) 花と緑の振興事業

花と緑の振興を図るため、次のとおり事業を実施した。

① 企画展示

花と緑の普及啓発のため、特別企画展として秋季は「第22回となみチューリップ球根まつり」、冬季は「第38回春を呼ぶチューリップ展」を開催した。また、春季は「チューリくん自慢のコレクション展」を、チューリップフェアと同時開催した。

また、企画展として「ハンギングバスケット展」等を開催した。

ア 特別企画展実施報告

名称	会期 (日数)	内容	備考
春季特別企画展 「チューリくん自慢の コレクション展」	4/22(土) ~ 5/5(金・祝) (14日間)	「チューリップが奏でる 色彩のシンフォニー」をテーマに県産品種を中心としたチューリップを使用し、フラワーアレンジメントやストリートピアノなどで写真撮影スポットを用意した。あわせて切花品評会を実施した。	チューリップフェアと同時開催
秋季特別企画展 「第22回となみチュー リップ球根まつり」	10/6(金) ~ 10/9(月・祝) (4日間)	球根産地砺波をPRするイベントとして、県産球根100品種以上を通常販売価格の2割引きで販売。チューリップを使ったフォトスポットの設置、寄せ植え体験が好評を博した。	13,000
冬季特別企画展 「第38回春を呼ぶ チューリップ展」	1/25(木) ~ 2/12(月・振休) (19日間)	「北陸新幹線敦賀延伸開業」を記念し、1万本のチューリップと早春の花々を使用した展示を実施した。となみ切花研究会の協力で切花販売を行った。	4,975

イ 企画展実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
チューリップ四季彩館& 砺波チューリップ公園 フォトギャラリー	4/22(土) ～ 5/5(金・祝) (14日間)	チューリップ四季彩館の年間展示の様子や砺波 チューリップ公園の花壇やイベントを紹介し、 フェア期間以外のみどころを紹介した (2階セミナールーム)
初夏を彩る コンテナガーデン展	5/12(金) ～ 5/28(日) (17日間)	デルフィニウムやラベンダーなどを使用した 花色を楽しむ寄せ植えを展示した。 (ワンダーガーデン)
香りのハーブ展	6/2(金) ～ 6/18(日) (17日間)	バジルやセージ、タイムなど花や葉に様々な香 りを持つハーブを展示した。 (屋外展示場)
夏を楽しむ草花 サルビアとペチュニア	6/30(金) ～ 7/23(日) (24日間)	夏の花を咲かせる代表的な植物「サルビア」と 「ペチュニア」を多品種展示紹介した。 (ワンダーガーデン・屋外展示場)
東昌子 押し花展	7/28(金) ～ 8/20(日) (24日間)	ふしぎな花倶楽部本部講師の東昌子氏の押花作 品を展示した。 (2階セミナールーム)
秋を彩る コンテナガーデン展	9/8(金) ～ 9/24(日) (17日間)	葉の色を楽しむカラーリーフや実のなるトウガ ラシを中心に、ペントスやニチニチソウ等の草 花でつくる寄せ植え約15点を展示した。 (ワンダーガーデン)
秋を彩る ハンギングバスケット展	10/6(金) ～ 10/15(日) (10日間)	日本ハンギングバスケット協会富山支部の協力 によりハンギングバスケット12点を展示し た。 (風車前広場)
いろいろな多肉植物	11/10(金) ～ 11/26(日) (17日間)	飾り方や楽しみ方を工夫し、約50品種の多肉 植物を展示紹介した。 (ワンダーガーデン)
四季彩館スクール 合同作品展	11/24(金) ～ 12/3(日) (10日間)	花の和紙ちぎり絵、三助焼陶芸、水引あそびの お花たちコースの受講生の作品を展示した。 (2階セミナールーム)

新春を彩る植物	1/5(金) ～ 1/14(日) (10日間)	縁起物植物や冬の寒さに強く、新年に花を咲かせる草花を紹介した。 (ワンダーガーデン)
早春を彩る植物	2/2(金) ～ 2/12(月・振) (11日間)	チューリップやムスカリ、スイセンなど促成栽培で早春に開花する球根植物を展示紹介した。 (ワンダーガーデン)
クリスマスローズを楽しむ	3/1(金) ～ 3/10(日) (10日間)	花の少ない冬の時期に咲くクリスマスローズ約20点の展示した。 (ワンダーガーデン)

② 花と緑に関する教室、講演会の開催

花と緑に親しみ、楽しむため花と緑に関する教室及び講演会を開催した。

ア 教室実施報告

1) 園芸教室

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花と緑のコース [全10回]	10	草花の土作りや防除について、園芸の基礎を学ぶ教室を開催した。	9
ハンギングバスケットコース [午前・午後 全5回]	10	季節のハンギングバスケットを作成する教室を開催した。	40

2) フラワーアート講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花の和紙ちぎり絵 初級コース [全5回]	5	バラやリンドウなどの花をデザインしたちぎり絵を作製する教室を開催した。	9
花の和紙ちぎり絵 中級コース [全5回]	5	花や植物、自然をテーマにしたちぎり絵の大作を作製する教室を開催した。	4
三助焼陶芸コース [全5回]	5	三助焼で花器を作成する講座を開催した。	12
水引あそびのお花たちコース [全7回]	7	日本の伝統工芸である「水引」を用いて花を作成した。	3

3)特別講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
楽しいキク作りコース [全8回]	8	キク苗の定植、剪定、夏に向けての管理など季節ごとの手入れについて学ぶ講座を開催した。	27

イ 講演会の開催

花と緑の推進と普及を図るため「花と緑のフォーラム」を開催した。

日 時 3月9日(土) 午後1時00分～

場 所 四季彩館チューリップホール1

花と緑の銀行砺波支店長表彰、記念樹贈呈、砺波市緑花推進市民会議、事例発表

記念講演：講師 中山正範氏

参加者数 150人

③ コンテストの実施

第12回ハンギングバスケットコンテスト 4月22日(土)～5月5日(金・祝) 参加数6

④ 情報の発信

広報となみを活用して、チューリップ四季彩館の特別企画展や常設展、園芸教室等に関する情報を発信した。

⑤ 緑花に関する事業の推進

市内公共施設や各地区の緑花推進協議会、協定地域へ花苗の配布、地域の花づくり推進補助を行い、地域緑花を推進した。

私たちの夢花壇（市民参画花壇）の推進及び砺波市花と緑のコンクールを行い、緑花意識の高揚に努めた。コンクール応募総数63件、10月の球根まつり会場内で表彰式を実施。

砺波花とみどりの少年団や砺波嵐山桜保存会の活動を支援した。

市内の保育所、認定こども園、幼稚園の年長児15クラス（13施設）へ、チューリップに親しみを持ち、花と緑を愛する心をより育てていただけるよう、水栽培セットを11月に配付した。

砺波駅周辺や砺波インターチェンジ付近、庄川ふれあい花街道などにおいて、市街地活性化も含めて緑花推進を図るため、花の植込みや樹木の維持管理を行った。

花と緑に包まれた美しいまちづくりの推進を図るため、結婚、誕生、新築の節目の方々へ、記念樹を配布した。

花いっぱいパートナー事業（申込みのあった市内事業所に樽プランター、土、チューリップ球根を無償で提供する）を実施した。11事業所：24個配付。

⑥ 体験企画

8月19日(土)に砺波チューリップ公園で行われた「公園 de 夏おそび」とタイアップした親子で楽しめる体験型イベントとして、押し花体験とペーパークラフト（クワガタ・カブトムシ作り）を実施した。（会場：チューリップホール2）

11月23日(木・祝)チューリップとビオラの寄せ植え体験を実施し、チューリップの植え方、育て方を紹介した。（会場：チューリップホール2）

⑦ その他

花と緑の銀行機関紙等に市内の緑花活動に関する内容を掲載するなど、花と緑のまち砺波市をPRした。

緑の相談員と連携し、保存樹の保全・継続・廃止に関して、事務事業を推進した。

(3) チューリップ四季彩館の管理運営事業

① 施設の管理

指定管理者として、チューリップ四季彩館の施設管理を適正に行った。年間を通じて展示スペース及びホールの施設管理を行い、照明設備や空調設備、消防設備点検を実施するとともに、消雪装置や照明灯修繕など施設維持管理を行った。

施設利用状況

区 分	展 示 室 ※うち台湾利用者数	特別企画展示	ホール利用
利用 者 数	34,320人 ※4,014人	22,816人	11,585人

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和5年度	0.861	0.139	
令和4年度	0.852	0.148	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 常設展示の企画、運営

年間テーマを「季節を彩る花々」とし、チューリップパレスのチューリップ展示とともに、季節の花々の展示を行った。

常設展示実施報告

テ ー マ	期 間
季節を彩る花々 ～春～	4 / 1 (土) ~ 5 / 9 (火)
季節を彩る花々 ～初夏～	5 / 10 (水) ~ 6 / 13 (火)
季節を彩る花々 ～夏～	6 / 16 (金) ~ 7 / 4 (火)
季節を彩る花々 ～盛夏～	7 / 7 (金) ~ 9 / 5 (火)
季節を彩る花々 ～秋～	9 / 8 (金) ~ 11 / 7 (火)
季節を彩る花々 ～クリスマス～	11 / 10 (金) ~ 12 / 26 (火)
季節を彩る花々 ～新春～	1 / 4 (木) ~ 1 / 22 (月)
季節を彩る花々 ～早春～	1 / 25 (木) ~ 3 / 26 (火)

③ 展示植物の育成

当財団で栽培した植物を館内装飾として活用し、花展示の充実を図った。

④ 展示花壇及び植栽の管理等

四季彩館周辺樹木や彩りガーデン(300品種のチューリップ花壇)などの管理を行った。また、屋外展示場では、香りのハーブ展(小企画展)の実施やヒマワリの展示を行った。

⑤ チューリップ四季彩館への誘客及び広告宣伝事業の実施

ホームページに、チューリップフェアとのリンクを設けて情報発信するとともに、フェアの動画(YouTube)、写真などの多様な機能を充実させた。また、英語、中国語(繁体字)のページにより、国外のお客様への情報発信及び誘客に努めた。

四季彩館及びチューリップフェアへの誘客のために、動画DVDや写真CDを活用し関係機関に配布しPRに努めた。

部門名	期日	内容	備考
広報となみ	11回/年 ※4月無し	展示、イベント、ショップ等の新商品のPR 講座受講者の募集など	
メディア広報 (新聞、テレビ、ラジオ等)	随時	イベントの新聞広告(折込チラシ含む) イベント情報を提供し取材を受けるなど	
ホームページ、 インターネット広報	随時	ホームページやリップちゃんブログ、 facebook、Instagramにて、企画展、常設展、 イベント、ショップ等新商品の情報を発信	
年間パスポート会員募 集	随時	随時会員募集。イベント案内の送付 ※四季彩館及びチューリップフェアの入場が無料	
チューリップ四季彩館 ファン感謝祭	12/2(土)	年間パスポート会員を対象としたイベントを 実施。解説付き展示観賞とお楽しみ抽選会	49人

四季彩館の展示内容やフェア期間中におけるチューリップの開花情報等をブログ、facebook、Instagramを通じて公開するとともに、積極的に情報発信の充実と誘客を図った。

7月にインバウンド回復後を見据え、富山県国際観光課主催の台湾旅行会社の担当者を対象とした「立山黒部・富山・長野・岐阜広域旅行商談会」台湾会場に参加し、四季彩館とフェアPRを実施。

2月に市が主催した、士林官邸公園チューリップ展の開会式及び文雅小学校への表敬訪問に参加するとともに、台湾旅行会との情報交換を実施。

⑥ 四季彩館の利用促進の実施

四季彩館の利用促進のため、結婚写真撮影や市内企業商品のPR映像収録の協力など、新たな利用方法の発信を行った。

カフェかくれ庵(喫茶店)や(一社)砺波市観光協会売店部門の魅力アップに協力し、四季彩館利用者の満足度の向上に努めた。

また、チューリップホールの予約状況をホームページに掲載するなど積極的にPRし、利用促進を図った。

(4) チューリップ公園等の管理運営

① 公園施設及び植栽の管理

指定管理者として、チューリップ公園(約69,700㎡)、フラワーロード(約2,900㎡)、フラワーフロンティアエリア(約2,800㎡)及びその周辺の施設や植栽の管理を適正に行った。春のチューリップのほかに、夏花壇として、コキアを中心に植栽し「ウキウキ♪コキア花壇」と名付け、秋まで鑑賞できるように花壇管理に努めた。抜き取ったコキアは、ホウキ

作り等に再利用してもらうため、希望者に配布した。

チューリップへの関心と理解を深めるとともに、市民参加型のチューリップフェアを推進するため、市内の小学生によるチューリップ球根植え込み、掘り取り事業を実施した。

チューリップ公園の通年利用と活性化を目的として、五連水車や遊具等施設の点検を実施するとともに、外灯や弁慶号建屋ガラス等の修繕など維持管理を行った。

また、公園 de 夏あそび、KIRAKIRA ミッションやマルシェなどのイベント開催に協力し、連携に努めた。

そのほか、毎月第2・第4木曜日を「公園清掃美化の日」と定め、財団職員による清掃活動を行った。

(5) 富山県花総合センターの管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、富山県花総合センターの施設管理を適正に行った。温室や本館施設の設備点検及び消防設備点検を行うとともに、園内花壇や温室の管理を行った。

② 花まつり等実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
特別展示 「春のハーモニー♪♪」	4/20(木) ~ 5/5(金・祝) (16日間)	展示ホール内を色とりどりの季節の花々と、チューリップで彩られた大きなハートで彩った。	15,500
初夏を彩る花まつり 2023 「球根植物①」	6/16(金) ~ 6/18(日) (3日間)	初夏から見頃を迎える、ユリやグラジオラスなどの球根植物のほか、季節の花々で展示ホールを彩った。	4,200
秋を彩る花まつり 2023 「球根植物②」	10/20(金) ~ 10/22(日) (3日間)	ダリアやヒガンバナの仲間(ネリネ、リコリス等)や、コルチカムなどの秋の球根植物のほか、季節の花々で展示ホールを彩った。	2,033
早春を彩る花まつり 2024 「球根植物③」	2/16(金) ~ 2/18(日) (3日間)	「球根植物」をテーマに、チューリップやスイセン、ラナンキュラスなどの春に咲く球根植物と季節の草花で、一足早い春を演出した。	1,800

③ 季節展示

名 称	会 期 (日数)	内 容
「キク科の花～春～」	3/8(水) ~ 4/9(日) (33日間)	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培されているサイネリアを中心に早春に花を咲かせる樹木や洋ランなど季節の花々を展示した。

「カランコエ属」	5/11 (木) ~ 6/12 (月) (33日間)	葉の形状や色彩の変化が個性的で、葉先に小さな子株を付ける種類や、花が美しい種類約50品種を展示した。
「観葉植物で楽しむ苔玉」	6/24 (土) ~ 7/10 (月) (17日間)	和風な雰囲気にもモダンなインテリアにも合う苔玉を、手軽に手に入る観葉植物で演出した。
「観葉植物の水耕栽培」	7/16 (日) ~ 8/28 (月) (43日間)	色や形も様々な観葉植物を水耕栽培し、その清涼感で夏に涼しさを演出すると共に、楽しみ方を提案した。
「ハオルチア」	9/8 (金) ~ 10/9 (月・祝) (32日間)	南アフリカからナミビア南部にかけて、約100種自生する「ハオルチア」を、軟葉系と堅葉系の特徴をいかしたユニークな多肉植物132品種を紹介した。
「紅葉を楽しむ多肉植物(エケベリアなど)」	11/4 (土) ~ 11/13 (月) (10日間)	中南米原産で色鮮やかな葉が重なってロゼットを形成する「エケベリア」の中でも、晩秋から春にかけて葉がきれいな紅葉色に染まる品種を中心に約150品種を展示した。
「クリスマス(シクラメン)」	11/16 (木) ~ 12/25 (月) (40日間)	県内の鉢花生産者が育てた最新品種を含むシクラメンと、高さ5mのクリスマスツリーを展示し、オーナメントや飾り、電飾等で華やかに彩った。
「お正月(ハボタン)」	1/4 (木) ~ 1/22 (月) (18日間)	紅白のハボタン約600鉢で描く「辰(たつ)」を展示した。このほか、センリョウやマンリョウなど縁起植物の展示、切花を使ったお正月アレンジ、凧や扇子、豊作を祈願するふなせんべいやまゆ玉などの装飾でお正月を演出した。
「節分(ハボタン)」	1/25 (木) ~ 2/4 (日) (10日間)	6品種700鉢のハボタンで描く「鬼」「お多福」を展示した。
「サイネリア、ユリオプスなど」	3/8 (金) ~ 4/15 (月) (38日間)	卒業式シーズンに合わせて県内でも多く栽培されているサイネリアと、ユリオプスデージーなどの鉢花に、イースターエッグを配したオブジェを加え、立体的に展示した。

④ コンテスト・講座等事業

ア コンテスト

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
第14回 コンテナガーデン コンテスト	10/ 1 (日) ～ 10/22 (日) (22日間) [植込日 :10/ 1] [審査日 :10/16] [表彰式 :10/22]	県民の緑花意識の向上と花の普及を目的として、コンテナガーデンの腕前(デザイン・管理など)を競うコンテストを実施した。50人の参加者が県内の生産者が育てた花苗25種類1,000鉢の中から8鉢を選び、指定のコンテナに植え込み、約2週間後の審査を経て「秋を彩る花まつり2023」最終日まで管理を行った。	50

イ 県民緑花カレッジ講座

名 称	月 日	内 容	延べ人数 (人)
花の水彩画	4/ 6 (木) 4/14 (金) 5/11 (木) 5/18 (木)	エレガガーデンの屋内外の花を描く。 [全4回]	44
洋ランを育ててみよう	5/20 (土) 7/ 8 (土) 9/ 9 (土) 10/28 (土)	洋ランの年間栽培管理を学ぶ。 [全4回]	80
バラづくり	5/27 (土) 9/ 2 (土) 11/ 4 (土) 3/16 (土)	四季咲き大輪バラの年間栽培管理について学ぶ。 [全4回]	80
季節の花を楽しむ	10/ 7 (土) 11/23 (木・祝) 12/16 (土)	季節の寄せ植えの栽培管理と楽しみ方を学ぶ。 [全3回]	60
フラワーアレンジ 基礎コース	7/ 1 (土) 9/23 (土・祝) 12/23 (土) 2/24 (土)	季節に合わせたフラワーアレンジメント(基礎)を学ぶ。 [全4回]	76
フラワーアレンジ 応用コース	7/ 1 (土) 9/23 (土・祝) 12/23 (土) 2/24 (土)	季節に合わせたフラワーアレンジメント(応用)を学ぶ。 [全4回]	80
植物画	2/25 (日) 3/ 3 (日) 3/17 (日) 3/24 (日)	温室の植物をモデルに鉛筆で細密に描く植物画を学ぶ [全4回]	68

ウ 県民緑花オープン講座実施

名 称	月日	内 容	人数 (人)
県民緑花オープン講座 (第1回～14回開催)	4/15 (土)	球根の水耕栽培「グラスバルブ ス」、お正月の寄せ植えづくり、 フラワーアレンジメント「お正 月」、生産者から学ぶ早春の寄せ植 え「プリムラ」などの講座を行っ た。 [全14回]	276
	5/13 (土)		
	6/3 (土)		
	6/24 (土)		
	8/20 (日)		
	9/16 (土)		
	10/29 (日)		
	11/11 (土)		
	11/18 (土)		
	11/23 (木・祝)		
	12/16 (土)		
	12/24 (日)		
	12/25 (月)		
	1/20 (土)		

⑤ スイセンほ場の管理

現在の保存品種225品種について、形質を良好な状態で維持・管理した。4月上旬からの開花期には見ごろ看板を設置し、来園者を開花中の圃場へ誘導してスイセンの魅力をPRした。

⑥ 立体花壇及びモデル花壇、バラ花壇等管理

立体花壇（正面入り口：ウォール）の図柄について、4～6月はビオラを使いチューリクんとリップちゃんの姿を描いた。

モデル花壇では、とやま鉢花生産者組合で生産された花苗を植栽し良好に管理した。

バラ花壇では60品種のバラを維持管理して、5月下旬～6月上旬の開花時期には新聞に取り上げられ多数の来園者があった。

⑦ 展示温室の管理

年間を通じ亜熱帯性植物や洋ラン類を良好な状態で維持管理して展示した。

⑧ 富山県花総合センター利用者増への取組

富山県花総合センターへの新規来園者開拓及び来園者増を図ることを目的として、花まつり等イベントや季節展示、花の見頃情報、講座の募集についてのPRをチューリップ四季彩館と一体的に行ったほか、広報となみや県広報とやま、リップちゃんのブログ、ホームページを活用し相互の連携を図るとともに、ポスターやチラシを配布した。また、イベント開催や花の見頃を案内する看板やのぼり旗を設置しPRを行った。

花まつりの開催中に実施した寄せ植え体験コーナーやとやま鉢花生産者組合青年部による花苗の販売が来園者に好評であった。

花まつり以外の期間も季節感のある展示テーマを設け、季節展示を展示ホールにて行った。

⑨ 施設設備の維持管理

温室暖房用燃料を貯蔵する地下タンク液面計の修繕、展示台の修繕、ガゼボ前水中ポンプの取替修繕などの修繕を実施した。

3 公益目的事業3

(1) となみ散居村ミュージアムの管理・運営

① 施設・設備の管理・運営

指定管理者として、ミュージアムの施設管理を適正に実施した。敷地内の美化については、除草、防除、剪定など適時実施し、施設の不具合等については、速やかに修繕を実施した。

散居村の保全活動等については、散居村に関する写真・パネル等の常設展示のほか、小学校のふるさと学習等を受け入れるなど、散居村に対する理解を深める一方、散居景観保全枝打ち研修会を開催し、散居景観保全活動や剪定技術の向上を図った。

また、博物館類似施設としてレファレンス業務に対応した。

空き家利活用事業及び砺波散村地域研究所事業の受託業務を実施した。

となみ野田園空間博物館推進協議会事務局及び全国散居村連絡協議会業務を担った。

施設利用状況

区 分	利用 者 数		利用 対 比 R5/R4
	令和5年度	令和4年度	
情報館・交流館・伝統館	20,319人	19,860人	102.3%
民具館	3,821人	3,287人	116.2%
合 計	24,140人	23,147人	104.3%

② 展示・施設利用

ア 企画展示等

名 称	期 間 (日数)	内 容	人 数 (人)
情 報 館	4/ 1(土)	エントランスで散居村に関する写真展などを随時開催	20,319
	~ 3/31(日)	【となみ野散居村フォトコンテスト ・ピエンナーレ入賞作品展示】 4/15(土)~5/30(火)	(4,980)
民 具 館	4/ 1(土) ~ 7/ 2(日)	第54回企画展 松本 昌子 創作人形展 時間も空間も超えて・・・	1,446
	7/ 8(土) ~ 11/ 5(日)	第55回企画展 染 中田 朋子 作品展	862
	11/11(土) ~ 3/ 3(日)	第56回企画展 古布再生 村田 悦美 作品展	1,175
	3/ 9(土) ~ 3/31(日)	第57回企画展 山本 征世 切り絵展 想像のかたち	267 ※継続中7/7まで

イ 常設展示

展 示 場 名	内 容 等
情 報 館	エントランス、ワクノウチにて散居村関連パネル等の展示
民 具 館	生活・生産用具（国重文）の展示

③ となみ野田園空間博物館推進協議会の業務受託

担当者会議、幹事会、総会の開催

ア 散居村学習講座

名 称	期 日	内 容 等	人数 (人)
見学会 学習講座	5/27 (土)	古民家・地域文化探訪見学会 富山県東部 旧北陸道沿いの伝統民家を訪ねる 随行講師 早稲田大学理工総研嘱託研究員 森本 英裕 氏	38
第1回 学習講座 (開講式)	6/17 (土)	本当の自分に戻る旅 講師 パーソナリティ・シンガー CHIKO 氏	53
第2回 学習講座	7/15 (土)	「ポストコロナ」時代の地域経済展望 講師 京都橘大学経済学部教授 岡田 知弘 氏	57
第3回 学習講座	8/26 (土)	日本の妻入民家と砺波地方のアズマダチ 講師 立命館大学衣笠総合研究機構教授 大場 修 氏	47
第4回 学習講座	9/16 (土)	越と能登 その交流に見ることばと文化 講師 同志社女子大学日本語日本文学科教授 中井 精一 氏	55
第5回 学習講座	10/28 (土)	～砺波散村地域研究所創立40周年記念講演会共同開催～ 空間の美－距離をおく美しさ－ 講師 女優・神戸市立森林植物園名誉園長 真野 響子 氏	175
第6回 学習講座	11/18 (土)	大雨と猛暑－日本と砺波の夏を振り返る－ 講師 気象庁防災アドバイザー 横山 博 氏 (元気象庁予報課長)	44
第7回 学習講座	12/16 (土)	散村と屋敷林－砺波平野の分散型都市環境－ 講師 京都大学名誉教授 京都府立京都学・歴彩館長 金田 章裕 氏	89
第8回 学習講座	12/23 (土)	～交通まちづくり公開講座共同開催～ 未来から考える交通・まちづくり ～地域の方々が共感できる希望の物語をどう紡げるか 講師 NPO法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾理事長 村尾 俊道 氏	27

イ 学習資料の作成

「砺波散村を研究した人々」リーフレット

「庄川と洪水～洪水と闘った砺波平野の人々～」パネル、リーフレット など

ウ 第17回小中学生写真コンテストおよび写真展の実施 応募総数861点

エ 「あずまだち高瀬」「いのくち椿館」との連携事業を実施

つばき展、いのくち椿まつりの開催

④ 空き家利活用事業の業務受託

市民生活課砺波暮らし推進班と連携し、空き家情報を収集した。

空き家利活用希望者及び移住検討者に対し、空き家情報の提供、内覧業務を行った。

ア 定住体験施設「佐々木邸」の管理及び利用者の受け入れ

利用期間	利用組数	利用人数
52日間	13組	42人

イ 第2のふるさと発見事業として、都市部の大学ゼミ活動の受け入れ

期日	大学ゼミ名	人数(人)
9月4日(月)～6日(水)	福岡女学院大学 二階堂教授ゼミ	12
9月20日(水)～23日(土)	同志社女子大学 中井教授ゼミ	18

⑤ 砺波散村地域研究所事業の業務受託

研究機関等と連携した散村に関する総合的な調査研究の実施

となみ野の景観資源の活用に向けた研究の実施

例会の開催、小学3年生を対象としたふるさと学習の協力

研究紀要第40号の刊行

高校等又は生涯学習団体の研究学習活動に対する支援

名称	期日	内容等	人数(人)
第1回 所員会議	4/22(土)	研究紀要第40号の刊行の調整 令和5年度年間事業計画の調整 所員調査研究案件の調整 創立40周年記念事業の調整	11
第82回 砺波散村地域 研究所例会	6/3(土)	研究発表 ・「岩川コレクションの仏教遺物から ーこけら経・泥塔・伊勢小町塚経塚瓦経ー」 帝塚山大学教授 杉崎 貴英氏 ・「タイの稲作営農組合と砺波平野の農業」 富山県立大学教授 星川 圭介氏 (所員) ・「中世後期における越中国油田村の支配」 南砺市立井波中学校教諭 亀ヶ谷 憲史氏 (所員)	51

運営協議会	7 / 6 (木)	令和4年度活動報告並びに令和5年度事業計画について	12
高校生対象 散村地域学習 講座	7 / 31 (月) ~ 8 / 2 (水)	砺波高校生が、市内関係施設・活動を訪れ、地域理解を深め、提言活動につなげる	11
小学生対象 散村地域学習 講座	8 / 6 (日)	「4年生親子で散村めぐり」 散居村展望台、伝統的家屋を見学し、紙面に学習内容をまとめる	8
第2回 所員会議	8 / 26 (土)	小中高向け散村地域学習講座の実施報告 研究紀要第40号の発行報告 第83回秋季例会の調整 創立40周年記念事業の調整 所員調査研究案件の調整	9
第83回 砺波散村地域 研究所例会	10 / 7 (土)	[発表] 「富山大学人文学部人文地理学研究室による 2022年度砺波市調査より」 ・富山県調査の概要 富山大学教授 大西 宏治 氏 ・砺波市調査の概要 富山大学准教授 鈴木 晃志郎氏 ・砺波市出町子供歌舞伎曳山における祭礼空間の変容 富山大学人文学部4年 佐藤 瞳 氏 ・地域コミュニティで行われる活動の継続要因 ー砺波市新屋敷における芝桜植栽活動を事例にー 富山大学人文学部4年 渡邊 彩夢 氏 [講演] 「世界の土 富山の土」 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 主任研究員 藤井 一至 氏	66
砺波散村地域 研究所創立 40周年記念式	10 / 28 (土)	[式典] 式辞 砺波散村地域研究所長 金田 章裕氏 祝辞 砺波市教育委員会教育長 白江 勉 氏 報告 研究所40年のあゆみ 安念事務局長 [記念講演] 講師 女優・神戸市立森林植物園名誉園長 真野 響子氏	175
庄川流域 見学会	11 / 11 (土)	ー庄川中・下流域編ー 高岡市・射水市域 随員 砺波散村地域研究所 今枝研究員	29
第3回 所員会議	3 / 9 (土)	下半期事業の実施報告 次年度事業計画の調整 研究紀要第41号の発行調整 調査研究事業の調整	10

ふるさと学習 講座 (小学3年生)	1 / 12 (金) ~ 2 / 8 (木)	散居村ミュージアム民具館受入れ	9校	371 (635)
		1月12日(金)井波小学校	59人	
		1月23日(火)砺波南部小学校	28人	
		1月25日(木)庄南小学校	23人	
		1月25日(木)城端小学校	47人	
		1月30日(火)庄川小学校	29人	
		2月1日(木)福光中部小学校	41人	
		2月2日(金)福光東部小学校	36人	
		2月5日(月)福野小学校	105人	
		2月6日(火)利賀小学校	3人	
		砺波民具展示室(庄東小学校内)受入れ	4校	
		1月17日(水)砺波北部小学校	89人	
		18日(木)	//	
		19日(金)	//	
		1月24日(水)砺波東部小学校	85人	
		1月26日(金)出町小学校	69人	
		2月8日(木)鷹栖小学校	21人	

4 収益目的事業1（施設貸与事業）

施設貸与事業は、市民の文化・教養活動や福祉の増進のほか興行・商業宣伝等のために、砺波市民並びにその他の者に各施設を貸与し、利用者の利便を図った。

（1）砺波市文化会館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で大ホール、練習室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（2）砺波市文化会館施設管理運営事業 ① 施設利用状況のとおり

（2）砺波市砺波農村環境改善センター施設貸与事業

- ① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			5年度	4年度	利用対比 R5/R4	5年度	4年度	利用対比 R5/R4
改善センター	多目的ホール	利用日数	日 193	日 217	% 88.9	人 30,126	人 34,197	% 88.1
		利用率	60.5%	67.0%	—			
	その他 (5部屋)	利用日数	720	759	94.9	10,252	10,578	96.9
		利用率	43.0%	45.2%	—			
	合 計	利用日数	913	976	93.5	40,378	44,775	90.2
		利用率	45.8%	48.7%	—			

（3）庄川水資料館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和5年度（人）	令和4年度（人）	備 考
映像ホール	0	41	

（4）庄川生涯学習センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で多目的ホール、研修室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（9）庄川生涯学習センター施設貸与事業 ① 施設利用状況のとおり

（5）チューリップ四季彩館施設貸与事業

- ① 公益目的以外でホールの施設の貸与を行った。
1 公益目的事業2（3）チューリップ四季彩館の管理運営事業 ①施設利用状況のとおり

（6）富山県花総合センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で研修室等の施設の貸与を行った。

(7) となみ散居村ミュージアム施設貸与事業

- ① 公益目的以外で交流館等の施設の貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和5年度(人)	令和4年度(人)	備 考
研修室ほか	6,727	6,803	

5 収益目的事業2(付帯事業)

付帯事業は、市民の教養や福祉の増進のほか美術資料の収集のためにサービスを提供し、もって利用者の利便を図った。

(1) 砺波市文化会館付帯事業

- ① 砺波市文化会館ホールメイト事業は、会員登録を行うことにより、砺波市文化会館事業のチケットを、通常より2週間早く先行購入できることに加え、5パーセント引きの特典があるサービスを行った。
また、他施設の公演チケットの受託販売及び施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(2) 砺波市美術館図録販売等事業

- ① 美術展図録、ミュージアムショップでのポスター等の販売及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(3) 庄川美術館図録販売事業

- ① 美術展図録及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(4) 水資料館付帯事業

- ① ポストカード等の販売を行った。

(5) 庄川生涯学習センター付帯事業

- ① 公衆電話の設置及び他施設の公演チケットの受託販売並びに施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(6) チューリップ四季彩館付帯事業

- ① 寄せ植え体験の実施や花鉢及び緑花に関する製品・記念品等の販売を行った。

(7) 富山県花総合センター付帯事業

- ① 花苗や花鉢の販売を行った。

(8) となみ散居村ミュージアム付帯事業

- ① 書籍等の販売を行った。